



(参考仮訳)

プレスリリース No. No. 11/187
即時解禁
2011年5月18日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事、辞任へ

ドミニク・ストロスカーン氏は本日、国際通貨基金 (IMF) の理事会に対し、専務理事職からの即時辞任の意向を明らかにした。ストロスカーン氏は理事会に正式に辞表を提出、その中で以下の声明を発表した。

理事会の皆様

本日私は、理事会に対し IMF 専務理事を辞任する意向をお伝えしなければならなくなりました。これは私の深い哀しみとするところです。

私は今この時、最愛の妻、子供達、家族、そして友人達のことを思っております。

そして、IMF の同僚の皆様のことを考えております。これまで3年以上に渡り、数々の非常に重要なことを皆様と共に成し遂げて参りました。

私に対する全ての疑惑に関し、私は全身全霊を持って断固否定するというのを、皆様にお伝えしたいと思います。

私は、誇りを持って心身共に捧げてきた、この組織を守ることを第一に考えたいと思います。そしてさらに、今は自分の無実を証明することに集中し、全力を注ぎたいと思っております。

ドミニク・ストロスカーン

IMF は近日中に、理事会による新専務理事の選出プロセスについて報告を行う予定である。その間、ジョン・リップスキー氏が引き続き専務理事代理を務める。